

2013年2月発行

安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097

ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/index.html>

発行:安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



レタス収穫時に天日にさらす作業

神戸のレタスは
いかがですか？

館山市で50年以上冬レタスを栽培する館山市清浄そ菜組合は、全員が農薬や化学肥料を削減したエコファーマーです。活動をするうちに「消費者が求めるレタスとは？」「生産者の栽培努力は消費者に伝わっているのか？」等の疑問が出てきました。

そこで、当事務所では消費者を集めて座談会を行い、そこからニーズを探る「消費者モニター試験」を行いました。また、生産者はその様子を別室で見ること、消費者の生の声を聞くことができました。その結果、産地が当然伝わっていると思っていたこと、伝えたいことが、実際には消費者に十分伝わっていませんでした。今後は、まず消費者に館山のレタスを知ってもらう方法を検討していきます。

水稻苗の細菌病に

御注意

種子消毒等をきちんと行っても浸種時や育苗中の環境が不適切だと、もみ枯細菌病、褐条病等の細菌病が発生します。カビが原因の病害に症状が似ていますがカビの防除では効果が無いので注意が必要です。弱った苗は本田でも生育が劣ります。以下の点に注意して元気な苗を育てましょう。

★薬剤等での消毒

- ①用土…フタバロンA粉剤を覆土に混和する等、細菌病に登録のある薬剤を使用して消毒しましょう。
- ②種子…化学合成農薬、微生物農薬等の処理方法があります。浸種は、水温10～17℃で行います。10℃以下だと発芽率、葉効ともに低下し、20℃以上だと細菌が増殖します。また、種籾…薬液の容量比は1…1以上にして種籾が薬液

に十分浸かるようにします。

★その他の管理

- ①用土の量…1箱の適正量は人工培土で床土が3kg、覆土は1～1.5kgが目安です。
- ②は種量…極端な厚播きを避け、1箱当たり乾籾量の目安は130～150g程度です。
- ③は種の早限…安房では主要品種は3月20日、ヒメノモチゆめかなえは4月5日です。
- ④かん水…かん水は1日1～2回、苗の葉が巻き始めたらいいます。寒い時はかん水をやめます。プール育苗は水位を土表面より上にします。
- ⑤温度管理…高温だと細菌病が蔓延しますので適温を守りましょう。催芽、出芽時は28～30℃で管理します。緑化時は昼20～25℃、夜10～20℃、硬化時は昼25℃以下、夜5～10℃で徐々に外気温に慣らします。苗は極端な温度変化に弱いので温度の管理は特に注意が必要です。

根シヨウガ栽培

植え付けまでの管理

安房地域では加工用原料や直売所出荷用としてシヨウガが栽培されています。今回は根シヨウガ（大シヨウガ）の露地栽培方法を御紹介します。

- 1 品種・種シヨウガ
近江等（500kg/10a）
- 2 植付け時期
4月下旬
- 3 種シヨウガの準備
種シヨウガは無病でよく充実したものを使い、手で100g程度に分割します。
- 4 植え付け準備
へほ場選定

連作を嫌います。5年程度作付けのないほ場を選定します。塊茎肥大のためかん水は重要なので、夏季にかん水できる場所を選びます。その他に、冠水すると全滅することもあるので、排水対策は必ず実施します。

（防除）

ネコブセンチュウ対策としてネマトリンエース粒剤（植付前）、根茎腐敗病予防対策としてリドミル粒剤2（定植前作条土壌混和）を処理します。

- 5 施肥
堆肥、苦土石灰をすき込み後、有機配合肥料等を全面施用し耕うんします。生育初期は吸肥力が弱いので、追肥に重点を置きます。基肥は窒素成分で12kgを目安にします。
- 6 植え付け
畝幅145cm、株間25cmのポリマルチ2条植え、マルチは7月中旬までに除去します。栽植本数は5,000株/10a。種シヨウガを畝に対して直角にし、新芽を上側として植え付け、3～5cm程度に覆土します。

※農薬の使用にあたっては、ラベルをよく読み、登録内容を確認してから使用してください。

電照栽培によるストックの開花促進

ストックのアイアン系品種は一本立ち品種の主力となっていますが、本品種は高温期に定植する作型では、開花が遅れたり、開花の揃いがよくないことが知られています。

このため、年内の出荷や収穫期間の短縮をねらった電照栽培が近年取り入れられています。白熱電球や遠赤色光LEDを用いて、日没後から4時間ほど電照すると、開花が促進され、採花までの期間が短縮されます。



電照栽培実施中のほ場

ストックの電照栽培による開花促進には、光源（ランプ）の選択が重要です。開花促進には遠赤色光（波長700～760nm）が効果的です。白熱電球や遠赤色光を含むLEDは効果があります。しかし、家庭照明用LEDや蛍光灯ではほとんど効果がありません。

開花までの日数は、花芽が確認できた時点で電照を終了しても、収穫終了時まで電照した場合と、ほとんど変わりません。そのため、収穫終了時までの照射は必ずしも必要ありません。

現在、電照栽培の問題点として、切り花品質の低下が挙げられ、電照によって茎がやや細くなり、節数が少なくなりますが、施肥管理等を変える必要があります。

今後は、さらに効果的な電照方法を確立するため、現地試験を行います。

千葉県農山漁村いきいきアドバイザー 安房の大地からの発信

県では、女性の経営・社会参画や起業化、文化の伝承等個別相談や働きかけを行う積極的な農林水産業従事者を「千葉県農山漁村いきいきアドバイザー」として認証しています。

安房地域で平成19年度から21年度に認証された方々は次の9名です。

- （館山市） 川名初江・須藤陽子・山口純子
- （鴨川市） 渡辺由美子
- （南房総市） 池田とも子・永井玉江
- （鋸南町） 三橋美子・刈込英子・清水由子

安房地域の独自の活動としては、平成20年度から、アド



今年度のフォーラムを開催したメンバー

バイザーの企画・運営による「安房地域いきいきフォーラム」安房の大地からの発信」を開催してきました。

安房の大地に魅せられた移住者や新規就農者・安房の女性農業委員・女性起業家・東日本大震災の復興にかける女性等様々な活動を紹介し、皆さんに活力をお届けしています。

新しく認証された 農業士の紹介

農業士とは地域農業の推進者として活躍又は活躍が期待される青年農業者を知事が認証する制度です。今年度農業士に新たに4名の方が認証されました。

三平尚登氏（南房総市）

温州みかん栽培とみかん狩りを中心とした果樹経営。



産地内で新しい栽培技術に先駆けて挑戦しており、産地の若手リーダーとして活躍しています。

岡本秀和氏（南房総市）

水稲と水稲育苗を組み合わせた大規模稲作



経営。平成22年3月に「株式会社岡本農園」を設立。社長に就任し、地域の若手リーダーとして活躍しています。

松本一人氏（南房総市）

カーネーション、ハボタン等の施設・露地花き経営。観賞用トウガラシやハボタン等希少な品目に取り組み、農園としてのブランド価値を高めて販売しています。



青木良平氏（南房総市）

ホワイトレース、ハイドランジア等を生産する大規模花き経営。特にハイドランジアの切花生産は、国内で先駆けて取組み、栽培技術を確立し現在も研究を進めています。



『安房農業の未来を語る タベ2012』を開催

安房地区農業士協会では『安房農業の未来を語るタベ2012』を11月2日に開催しました。当日は71名の農業者・関係者が集まり、将来の安房農業について熱心に議論を交わしました。



会場内の様子

千葉県指導農業士会 会長に穂積昭治氏が就任

平成24年千葉県指導農業士会総会において穂積昭治氏（南房総市）が会長として選出され、承認されました。任

期は2年で千葉県農業の担い手の育成・確保に向けた活動が期待されます。



穂積 昭治氏

『徳安記念普及功労賞』を受賞

社団法人全国農業改良普及支援協会では、普及事業の発展と普及活動の高揚に資するため、優れた業績等を表彰する「普及功労賞」を設けて実施しています。

平成23年度、千葉県では安房農業事務所が南房総市和田町の酪農家を対象に活動した「自給飼料畑の再生と耕作放棄地の活用」をコントラクター組織の設立と酪農家の労働環境改善が「徳安記念普及功労賞」を受賞しました。